

麒麟のまち 地域食堂等推進のための「食のネットワーク」整備プロジェクトについて

趣 旨

鳥取市地域食堂ネットワークは、麒麟のまち圏域の25カ所の地域食堂(こども食堂)への食材の提供などの支援を行っています。このたび(一社)全国食支援活動協力会が休眠預金事業を活用して、全国の連携企業・団体からの寄付食材を全国の子ども食堂等に提供する「食のネットワーク」整備プロジェクトに地域食堂ネットワークも参加します。



地域食堂 実施箇所数 (R4.1 現在)

事業内容

- 麒麟のまち圏域内に数カ所のハブ拠点を作り、業務用冷蔵庫および冷凍庫等を設置することにより、地域食堂(こども食堂)等へきめ細かい支援を行うとともに、圏域内の企業や団体等からの食材寄附等の支援を受けやすくします。
- ロジ拠点(既存利用)からハブ拠点(新設)への配送は、地域食堂ネットワーク所有の保冷車を活用します。
- 本プロジェクトで開発されたシステムを使用して、全国からの寄附食材の管理と受取要望とのマッチングを行います。
- 圏域内の多くの企業・団体から継続的な支援をいただくために、様々な媒体を活用した広報活動の充実強化を図ります。
- 本プロジェクトの専属職員1名を雇用(令和4・5年度)し、事業の推進を図ります。



【ハブ拠点予定】

八頭町、新温泉町、鳥取市気高町

事業費

- ・拠点整備プロジェクト 2,000千円(R3年度)
- ・食の物流ネットワーク整備プロジェクト 14,800千円(R3~5年度)

市町の役割等

- ・圏域の企業、団体向への食材寄附等の支援の呼びかけ
- ・ハブ拠点設置場所の確保と経費(電気代)負担
- ・寄付食品の活用(地域食堂やサロン活動への提供、生活困窮者、母子支援施設等への支援)

経過と今後のスケジュール

- 令和3年2月：助成決定、7月：契約書作成のためのヒアリング
 8月：地域食堂ネットワーク加盟団体の承諾(書面決議)
 10月：ハブ拠点設置該当町等への説明、11月：本事業契約書締結
 12月：全国食支援活動協力会による事業説明会(市町、社協)
- 令和4年2月：麒麟のまち創生戦略会議
 5月：名称変更「麒麟のまち地域食堂ネットワーク(仮称)」

※本事業の成果を基盤にして、「法人化」を目指します。